

# 景気見通し調査 調査結果

令和3年6月期

福井商工会議所 中小企業総合支援センター

**【調査の概要】**

当調査は、福井商工会議所管内の小規模事業所を中心とした短期的な景気動向を把握するため、毎年3月・6月・9月・12月の年4回実施している。

調査時期：令和3年5月31日(月)～6月9日(水)

調査方法：FAXによる送付、回収

電話での回答依頼、回収

Google フォームからの回答受付

調査対象：福井商工会議所の会員 小規模事業所を中心に471件を抽出

(製造業・建設業・その他・・・従業員20人以下の事業所

卸売業・小売業・サービス業・・・従業員5人以下の事業所)

回答数：236件 (回答率 50.1%)

従業員数	製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	合計
5名以内	21	23	26	19	36	125(53.0%)
6～10名以内	7	25	4	7	13	56(23.7%)
11名以上	24	4	4	10	13	55(23.3%)
小計	52(22.0%)	52(22.0%)	34(14.4%)	36(15.3%)	62(26.3%)	236(100.0%)

D I 値とは…ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「良い」「上昇した」とする企業割合から、「悪い」「下落した」とする企業割合を差し引いた値。「現在」D I 値は3ヵ月前を基準とした現在の状況、「先行」D I 値は今後3ヵ月後の状況を予測したもの。

## 【調査結果の概要】

緩やかに回復続くも、「原材料の高騰」が今後の経営に及ぼす影響が懸念される。

### ①業界の景況

緩やかに回復が続く。  
建設業では4期ぶりのマイナス。

### ②自社の景況

4期連続で回復するも、飲食業では依然として先行き不安。

### ③売上高(受注高)

景況感と連動し改善傾向、4期連続で改善。

### ④販売価格

3期連続で回復。先行DI値は新型コロナウイルスの影響後、初めてのプラスに転換。

### ⑤仕入価格

過去に例を見ない大幅な悪化。建設業で顕著。

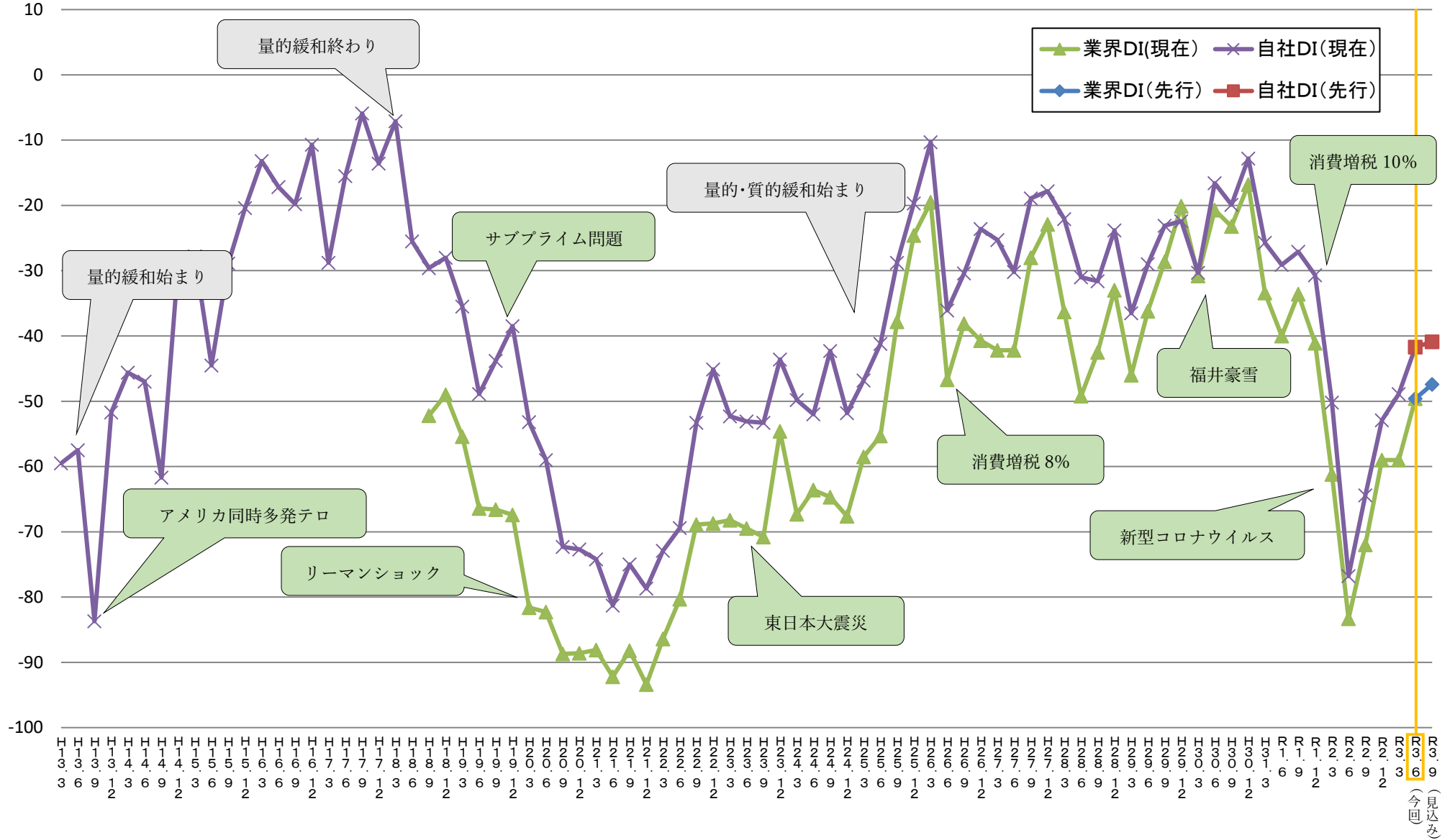
### ⑥採算(収支)

小売業・卸売業で大幅に回復。飲食業は依然として厳しく。

## 【特別調査（コロナ禍におけるIT・デジタル化への取り組み調査）の概要】

- コロナ禍におけるITを活用した取り組みで最も多かったのは「HPの作成」58社で、実際投資金額の平均金額は47.4万円だった。
- 「HPのリニューアル」に取り組んだと回答した事業所は52社で、実際投資金額には幅広い差がみられた。
- 売上増に向けて「HPの受発注機能の付加」に関心はあるが、取り組みの実現にまで至っていない事業所が多くみられた。
- 「Web会議システム（商談会・営業）の活用」は、従業員規模の大きい事業所ほど取り組みが多い傾向がみられた。
- 「SNSの活用」は費用をかけずに取り組めるITツールということもあり、今後取り組みたいとの回答が多かった。
- 「越境ECへの登録」、「フィッティングアプリの開発」、「YouTubeで動画投稿」、「チャット・BIツール・IoT活用」など、各事業所においてはIT・デジタル技術を活用して、新型コロナウイルスによる社会環境の急激な変化に対応する姿勢が窺えた。

# 福井商工会議所「景気見通し調査」 業界／自社景況DI推移

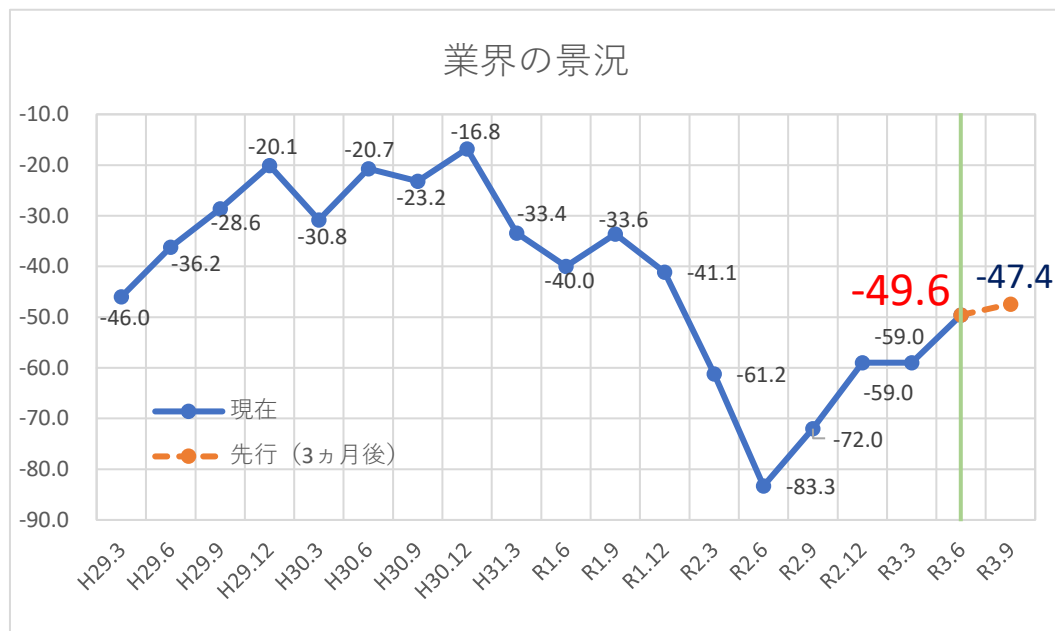


## ① 一業界の景況

### 【緩やかに回復するも、建設業は4期ぶりにマイナス】

業界全体の現在DI値は▲49.6となり、前回調査時（R3.3月期）から9.4ポイント改善した。また、先行DI値は▲47.4（+2.2ポイント）で、今後も景況感は緩やかに回復が続く予想となった。

業種別にみると、サービス業の現在DI値が▲43.5（+29.0ポイント）と大幅な改善となった。特にサービス業のうち、非飲食業の現在DI値は前回調査時（▲65.4）から37.3ポイント改善し、▲28.1となった。また、製造業も現在DI値は▲53.8（+13.5ポイント）と大幅に改善し、R2.6月期調査から徐々に改善傾向がみられる結果となった。その他、卸売業では現在DI値が▲69.4（+12.7ポイント）と改善したのに加え、先行DI値も▲67.6（+1.8ポイント）と改善が見込まれた。一方、建設業はこれまで3期連続で現在DI値が改善傾向にあったが、今回は▲30.8（-14.4ポイント）となり、再び悪化に転じた。



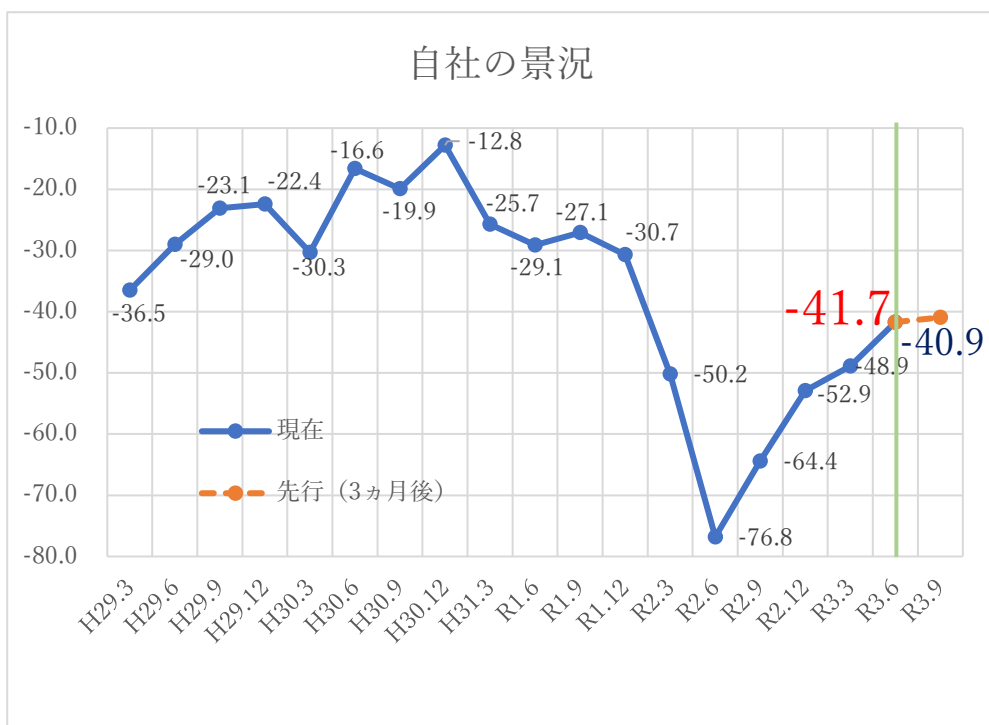
① 業界の景況	2021年4~6月（今期）		2021年7~9月（見通し）	
	現在DI値	変化幅	先行DI値	変化幅 (先行DI - 現在DI)
全業種	-49.6	9.4	-47.4	2.2
製造業	-53.8	13.5	-57.7	-3.8
建設業	-30.8	-14.4	-30.8	0.0
小売業	-61.8	-4.7	-44.1	17.6
卸売業	-69.4	12.7	-67.6	1.8
サービス業	-43.5	29.0	-43.3	0.2

② 一自社の景況

### 【4期連続回復するも、飲食業は依然として先行き不安】

自社の景況は、現在DI値が▲41.7（+7.2ポイント）と4期連続の回復となった。また、先行DI値も▲40.9（+0.8ポイント）とわずかではあるが改善し、その傾向が続く見通しとなった。

業種別にみると現在DI値は業界の景況感と同様に、サービス業・製造業・卸売業は回復となった。一方で先行DI値は、サービス業で▲45.9と-7.2ポイント、卸売業で▲61.8で-6.2ポイントの下落となった。ただし、サービス業を飲食業と非飲食業に分けてみると、現在DI値は飲食業が▲72.7（+13.0ポイント）、非飲食業が▲37.3（+28.1ポイント）、先行DI値は飲食業で▲70.0、非飲食業で▲38.0となった。サービス業全体では回復となったものの、飲食業では依然として新型コロナウイルスの影響が色濃く残っており、予断を許さない状況であることが窺えた。



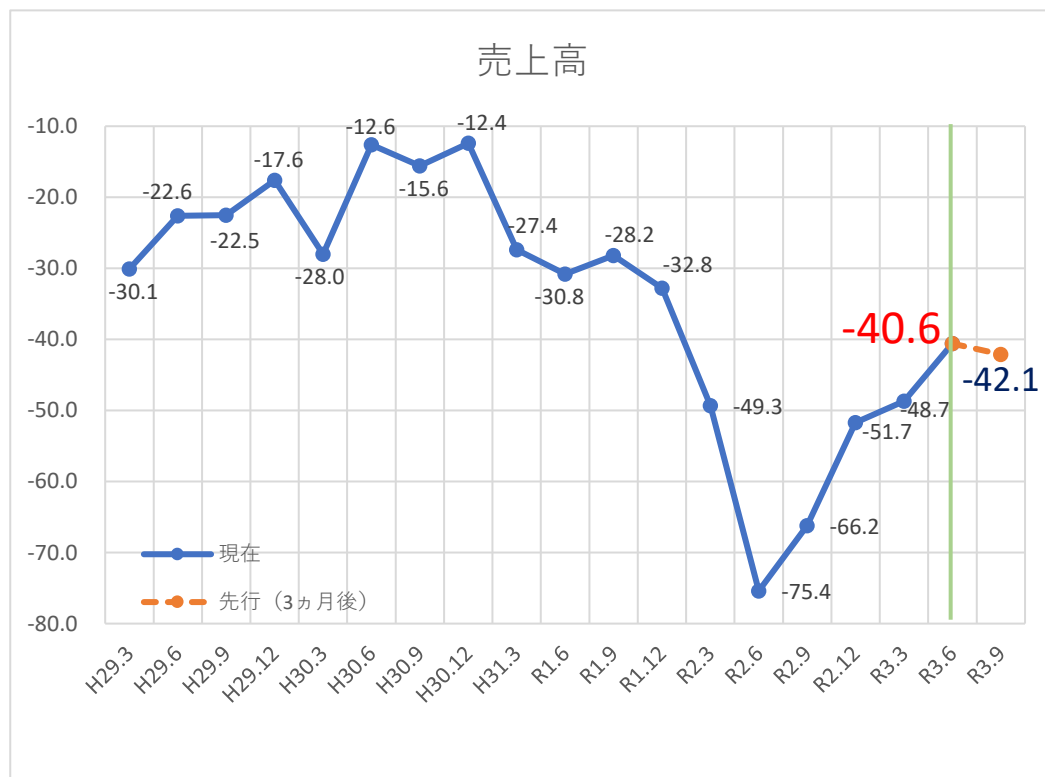
② 自社の景況	2021年4~6月（今期）		2021年7~9月（見通し）	
	現在DI値	変化幅	先行DI値	変化幅 (先行DI - 現在DI)
全業種	-41.7	7.2	-40.9	0.8
製造業	-48.1	15.5	-44.2	3.8
建設業	-26.9	-23.3	-23.1	3.8
小売業	-45.5	-1.6	-33.3	12.1
卸売業	-55.6	11.1	-61.8	-6.2
サービス業	-38.7	25.1	-45.9	-7.2

③ 一売上高（受注高） —

## 【景況感と連動し改善傾向、建設業は3期ぶりにマイナス】

売上高（受注高）の現在DI値は、▲40.6(+8.1ポイント)と前回調査時から回復し、景況感と連動して4期連続の回復となった。しかし、先行DI値は▲42.1と-1.5ポイントの下落の見通しとなった。

業種別にみると、建設業を除いてどの業種も回復したが、建設業は▲27.5(-21.9ポイント)と3期ぶりにマイナスに転じた。一方で、先行DI値は▲22.9と4.5ポイントの回復の見通しとなった。



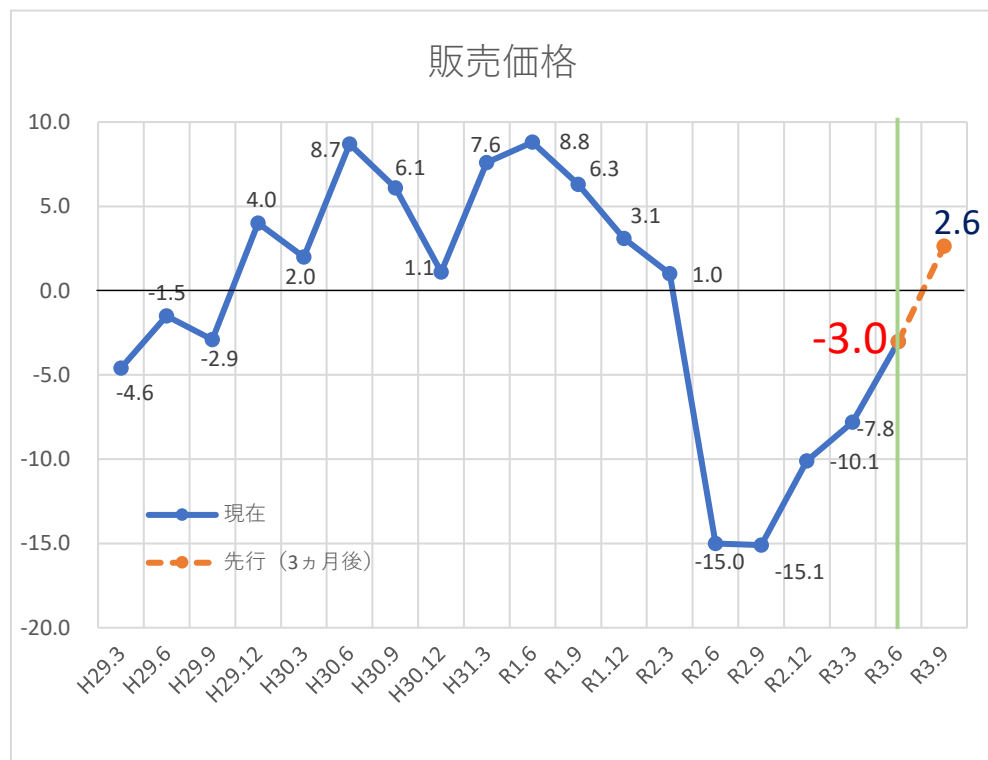
③売上高	2021年4~6月（今期）		2021年7~9月（見通し）	
	現在DI値	変化幅	先行DI値	変化幅 (先行DI - 現在DI)
全業種	-40.6	8.1	-42.1	-1.5
製造業	-44.2	8.5	-46.2	-1.9
建設業	-27.5	-21.9	-22.9	4.5
小売業	-36.4	5.1	-36.4	0.0
卸売業	-58.3	16.1	-64.7	-6.4
サービス業	-40.3	26.0	-44.3	-3.9

#### ④ ー販売価格ー

### 【先行 DI 値が新型コロナウイルス影響後初めてのプラスに転換】

販売価格の現在 DI 値は、▲3.0 で (+4.8 ポイント) と回復し、3 期連続の回復となった。また、先行 DI 値は 2.6 (+5.6 ポイント) となり、新型コロナウイルスの影響後初めてプラスに転じた。

業種別にみるとサービス業は、現在 DI 値が▲1.7 (+12.2 ポイント) で前回調査時から大幅な回復となった。また、サービス業を飲食業と非飲食業で分けてみると、非飲食業の現在 DI 値は 2.0 で前回調査時から 17.3 ポイントの回復となったが、飲食業の現在 DI 値は▲18.2 で前回調査時から 10.8 ポイント下落となった。なお、卸売業の DI 値は 2.8 で、前回調査時から 7.9 ポイント回復し全業種で唯一のプラスとなり、先行 DI 値も現在 DI 値より上昇し、回復が続く見通しとなった。



④販売価格	2021年4~6月(今期)		2021年7~9月(見通し)	
	現在DI値	変化幅	先行DI値	変化幅 (先行DI - 現在DI)
全業種	-3.0	4.8	2.6	5.6
製造業	-1.9	5.4	-3.8	-1.9
建設業	-10.0	-4.5	-8.0	2.0
小売業	-2.9	-0.5	3.0	6.0
卸売業	2.8	7.9	8.8	6.0
サービス業	-1.7	12.2	-6.8	-5.1



⑤ 一仕入価格一

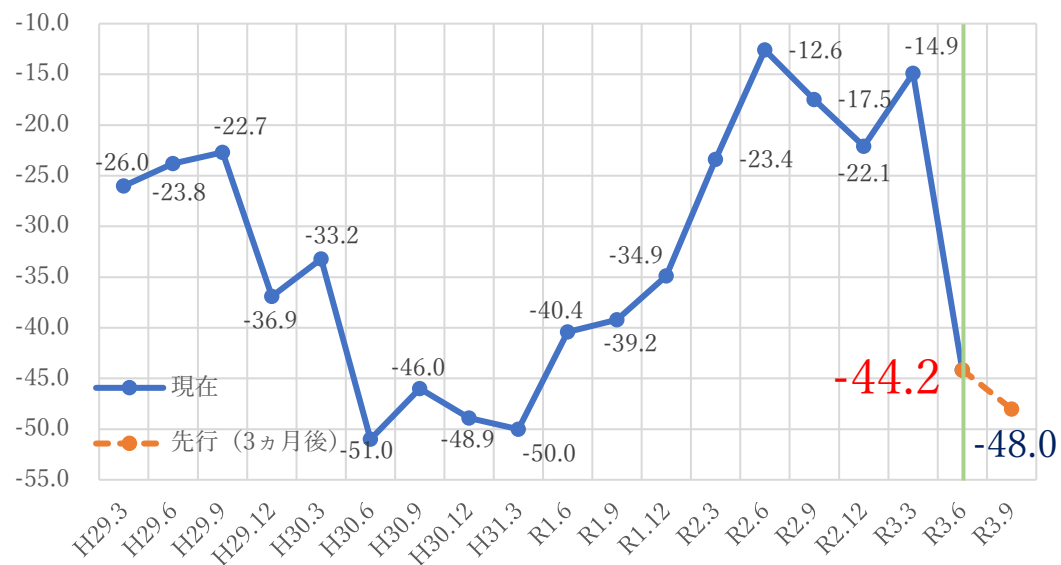
【過去に例をみない大幅な悪化、建設業で顕著】

仕入価格の現在DI値は、▲44.2となり、前回調査時から-29.3ポイントと下落し、過去に例を見ない大幅な悪化となった。さらに、先行DI値も▲48.0（-3.8ポイント）と悪化が続く見通しとなった。

これは、新型コロナウイルスの影響からいち早く回復した中国の需要増加をはじめ、世界各国で消費が徐々に戻り始めたこと、またコロナ禍の影響により輸送に必要なコンテナ船の不足、さらには世界的な金融緩和による投資マネーの流入などにより、原材料が高騰していることが要因と考えられる。

業種別にみると、建設業の現在DI値は▲60.8（-40.8ポイント）と急激な悪化が見られた。また、それ以外の業種も軒並みに20ポイント超の下落となり、建設業に限らず全業種において仕入価格の上昇による採算圧迫など、今後の経営に及ぼす影響が懸念される結果となった。

仕入価格



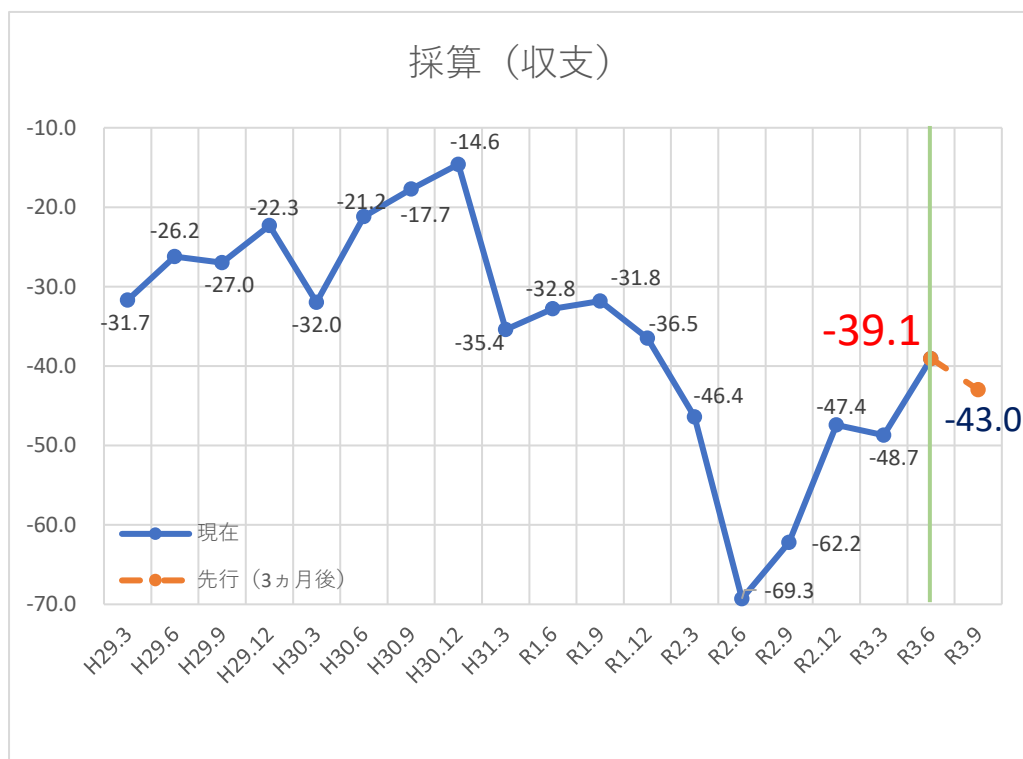
⑤仕入価格	2021年4~6月（今期）		2021年7~9月（見通し）	
	現在DI値	変化幅	先行DI値	変化幅 (先行DI - 現在DI)
全業種	-44.2	-29.3	-48.0	-3.8
製造業	-42.3	-29.6	-51.9	-9.6
建設業	-60.8	-40.8	-56.9	3.9
小売業	-42.4	-21.0	-50.0	-7.6
卸売業	-50.0	-29.5	-55.9	-5.9
サービス業	-28.8	-22.4	-31.0	-2.2

⑥ —採算（収支）—

## 【小売業・卸売業は大幅に回復、飲食業は依然として厳しく】

採算（収支）状況を表す現在DI値は、▲39.1で前回調査時から9.6ポイントの改善となった。また、先行DI値は、▲43.0と-3.9ポイント悪化した。新型コロナウイルスの影響が出る前とほぼ同水準となり、回復傾向がみられた。

業種別にみると、現在DI値が大幅に回復したサービス業のうち、飲食業の現在DI値は▲81.8と他業種と比べ一段と低く、前回調査時同様に新型コロナウイルスの影響が強くみられた。また、小売業は現在DI値が前回調査時から+17.6ポイントと大幅に回復し、先行DI値は▲31.3（+1.1ポイント）でありわずかながら回復の見通しとなった。建設業は、これまで他業種に比べマイナス幅が小さく推移していたが、現在DI値は▲26.0で-15.1ポイントの下落となり、先行DI値も全業種の中で悪化が目立つ結果となったことから、前述した仕入価格の上昇に対する懸念が窺えた。



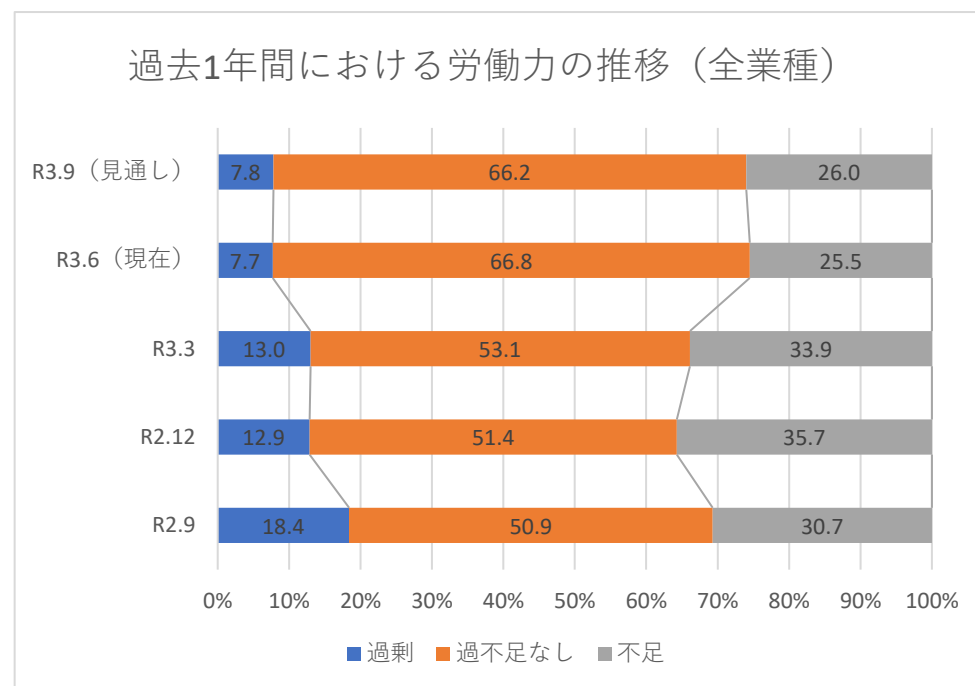
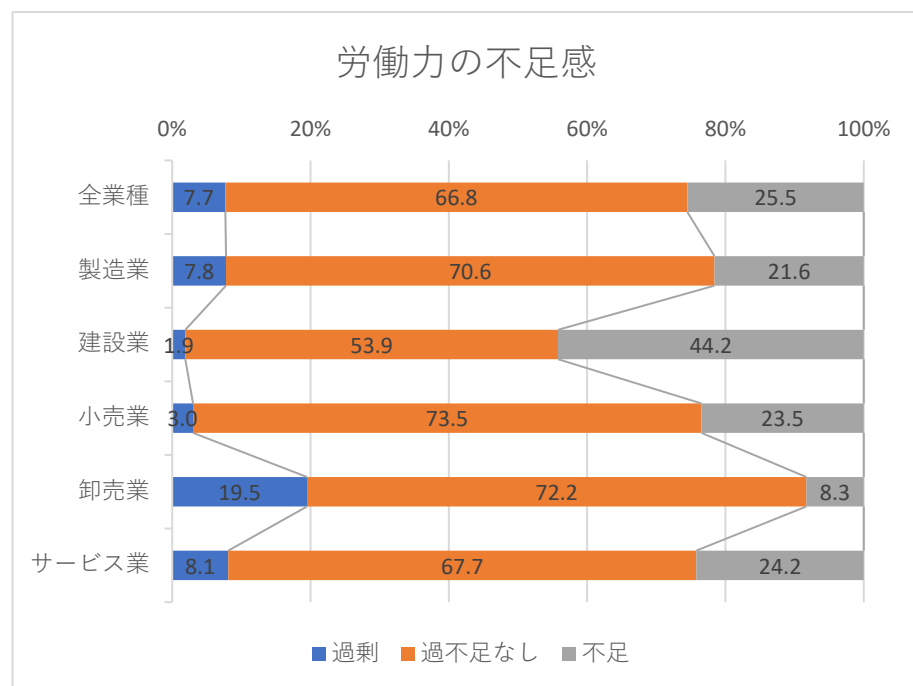
⑥採算	2021年4~6月（今期）		2021年7~9月（見通し）	
	現在DI値	変化幅	先行DI値	変化幅 (先行DI - 現在DI)
全業種	-39.1	9.6	-43.0	-3.9
製造業	-46.2	-0.7	-42.3	3.8
建設業	-26.0	-15.1	-38.0	-12.0
小売業	-32.4	17.6	-31.3	1.1
卸売業	-47.2	16.9	-55.9	-8.7
サービス業	-42.6	26.2	-46.7	-4.1

⑦ 一労働力一

## 【小売業で大幅改善するも依然として建設業は不足感が強く】

労働力については、「不足」の回答が25.5%（前回33.9%）と8.4ポイント減少し、2期連続で改善となった。また、3か月後は、「不足」の回答が26.0%と若干増加したものの、ほぼ現状と変わらない見通しとなった。

業種別にみると、小売業は「不足」の回答が23.5%（前回42.9%）と19.4ポイントの大幅な改善が見られた。また、サービス業でも24.2%（前回35.0%）と10.8ポイント改善した。一方、建設業では「不足」が44.2%（前回50.9%）と6.7ポイント改善しているものの、依然として他業種と比べて不足感が強い結果となった。



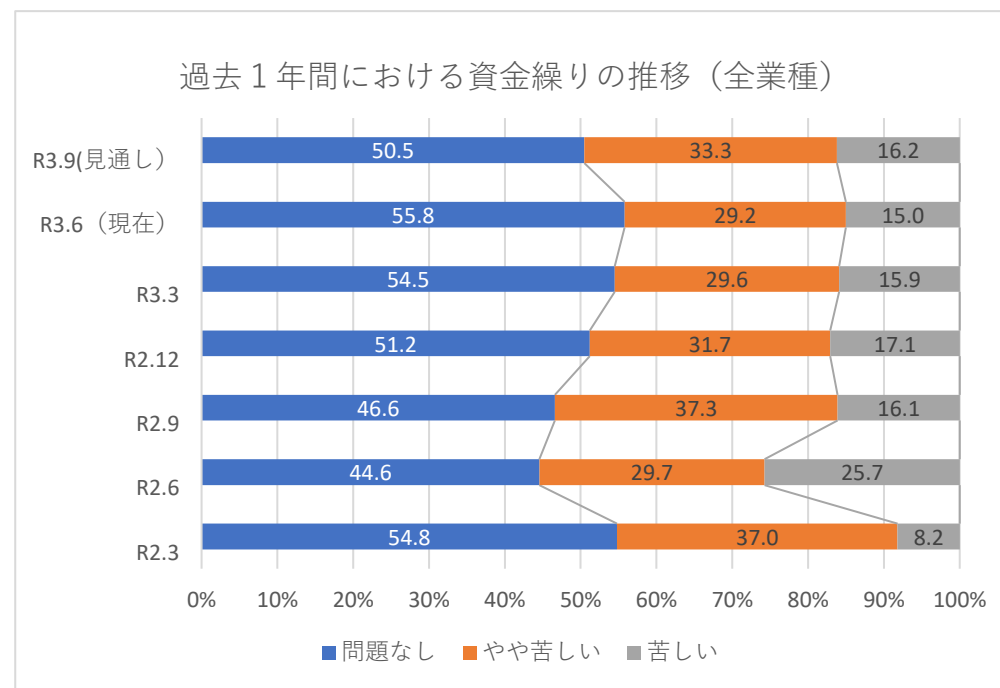
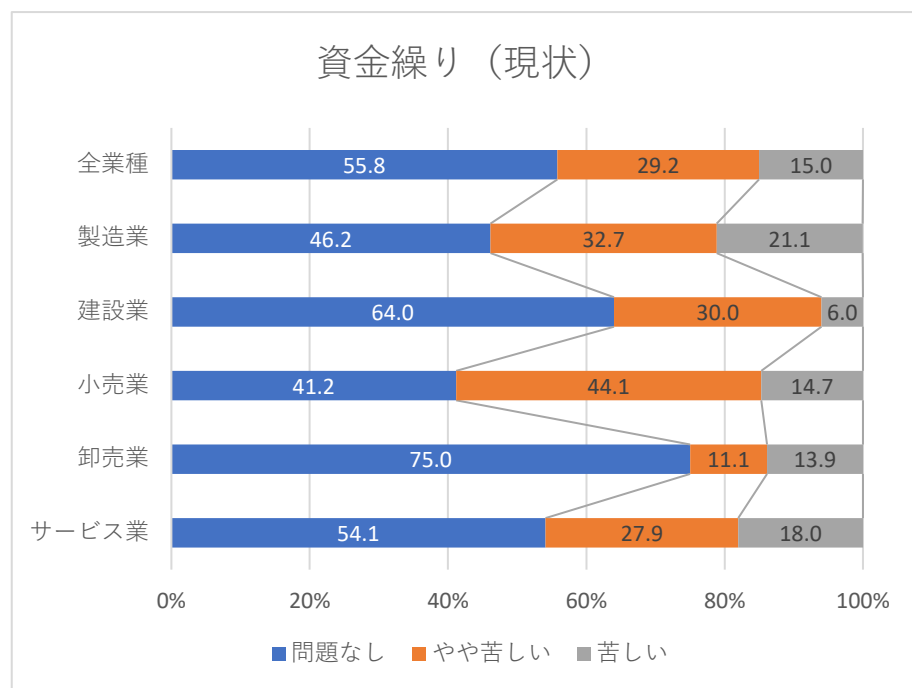
⑧ ー資金繰りー

## 【卸売業は大幅に改善、小売業・製造業は苦しい状況が続く】

現在の資金繰りの状況は「やや苦しい」、「苦しい」との回答が44.2%と前回調査時（45.5%）から1.3ポイント改善した。

過去1年間における資金繰りの推移をみると、新型コロナウイルスの影響を最も強く受けたR2.6月期調査から「問題なし」との回答は4期連続で改善し、R2.3月期を上回る水準まで回復した。

業種別にみると、景況感、売上高、採算が大きく改善している卸売業では、「問題なし」との回答が75.0%（前回56.4%）と資金繰りでも大幅な改善が見られた。一方、「やや苦しい」、「苦しい」との回答が小売業では58.8%（前回58.5%）、製造業では53.8%（前回45.5%）となり、苦しい状況が続いていることが見て取れた。



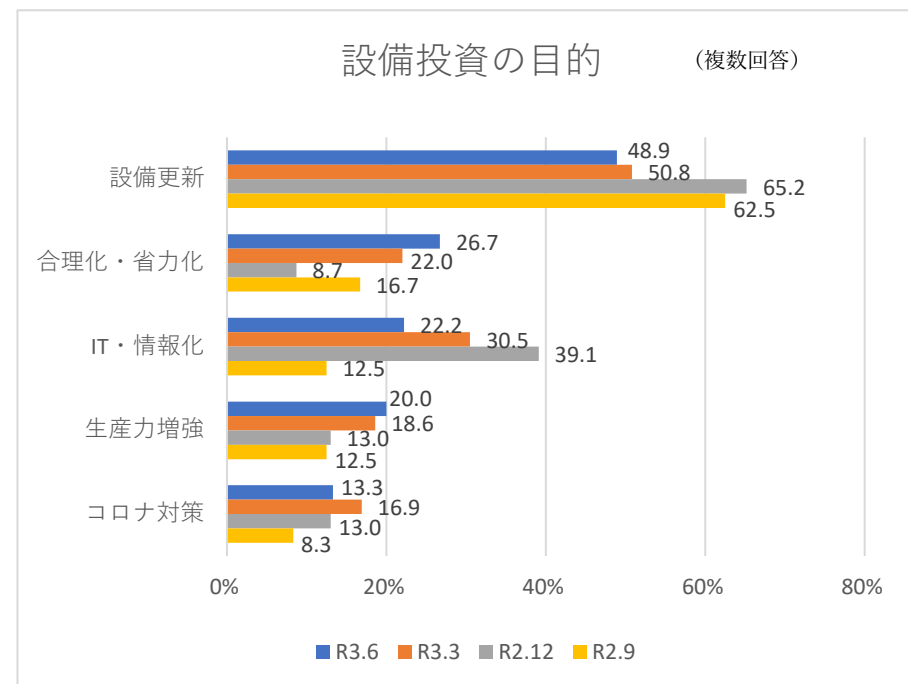
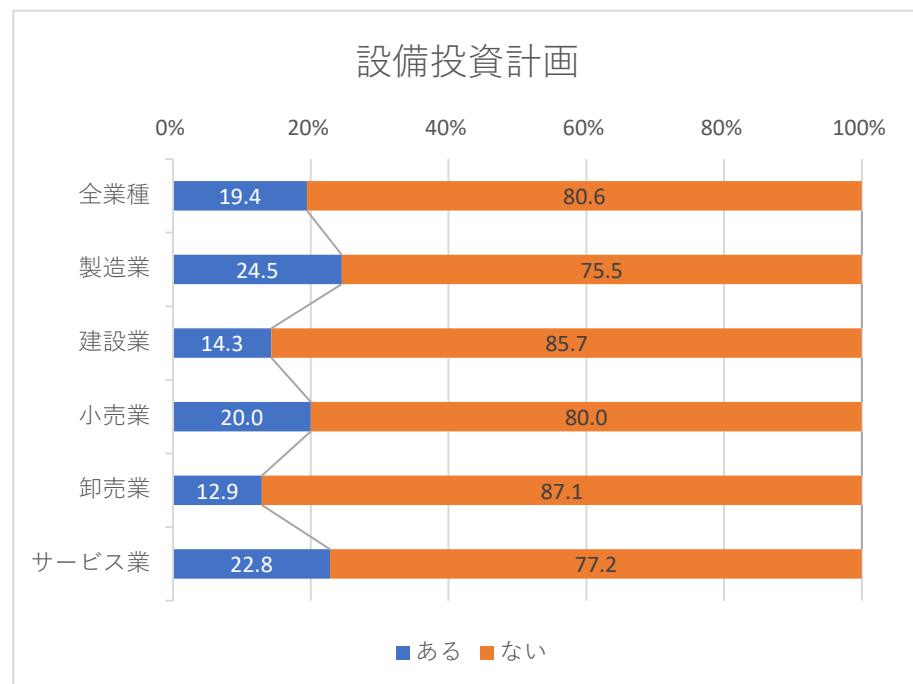
⑨ ー設備投資ー

## 【設備投資の目的に変化、「IT・情報化」は減少が続く】

今後3ヵ月以内の設備投資計画では、19.4%が「投資計画あり」と回答し、前回調査時より4.2ポイント増え、R2.9月期調査から4期連続で増加となった。

業種別にみると、「投資計画あり」との回答が前回調査時と比べて、建設業は14.3%（前回6.0%）で8.3ポイント、小売業は20.0%（前回12.8%）で7.2ポイント、製造業は24.5%（前回17.6%）で6.9ポイントとそれぞれ増加した。

「投資の計画あり」と回答した事業所の投資内容では、「設備更新」が48.9%（前回50.8%）で引き続き最多の回答となった。その他、「合理化・省力化」は26.7%（前回22.0%）で4.7ポイント、「生産力増強」は20.0%（前回18.6%）で1.4ポイント増加した。一方で、「IT・情報化」はR2.12月をピークに減少が続く、設備投資の目的に移り変わりがみられた。



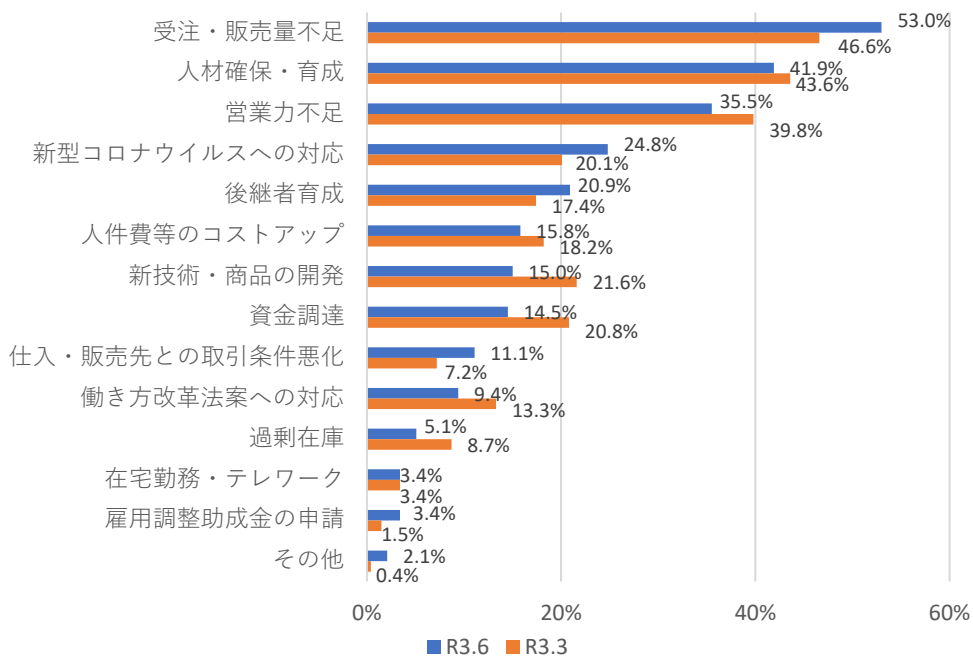
⑩ —経営課題（内的要因）—

**【依然として受注・販売量不足が多く、新型コロナウイルスへの対応を挙げる声が再び増加】**

内的要因における経営上の課題は、「受注・販売量不足」を挙げる回答が53.0%と依然として最も多く、前回調査時（46.6%）から6.4ポイント増加した。また、「人材確保・育成」前回から引き続き労働力の改善と連動しポイントが減少した。尚、「新型コロナウイルスへの対応」は、24.8%で前回から4.7%増加し再び課題とする声が多くなってきた。一方で、前回大きくポイントを伸ばした「新技術・商品の開発」は15.0%と6.6ポイント減少した。コロナ禍において数値に波が見られる「資金調達」は14.5%で6.3ポイントの減少となった。

業種別にみると、建設業以外の業種すべてが「受注・販売量不足」を経営上の課題として挙げた中、建設業 dde は「人材確保・育成」が最大の課題となり前回同様、他業種との差異が見られた。また、サービス業のうち、飲食業では「受注・販売量不足」が29.6%、非飲食業では「人材確保・育成」が49.0%で最も多い回答となった。

経営上の課題（内的要因）



業種別経営課題 (内的要因) 【複数回答】			受注・販売量不足	人材確保・育成	営業力不足	新型コロナウイルスへの対応
			全業種	R3.6	53.0%	41.9%
	R3.3	46.6%	43.6%	39.8%	18.2%	
製造業	R3.6	68.6%	31.4%	39.2%	13.7%	
	R3.3	62.3%	35.8%	43.4%	22.6%	
建設業	R3.6	31.5%	66.7%	27.8%	24.1%	
	R3.3	29.6%	68.5%	35.2%	24.1%	
小売業	R3.6	42.5%	17.5%	25.0%	20.0%	
	R3.3	52.5%	35.0%	37.5%	10.0%	
卸売業	R3.6	66.7%	30.8%	38.5%	28.2%	
	R3.3	64.1%	30.8%	35.9%	17.9%	
サービス業	R3.6	37.2%	34.6%	29.5%	24.4%	
	R3.3	35.9%	42.3%	43.6%	15.4%	

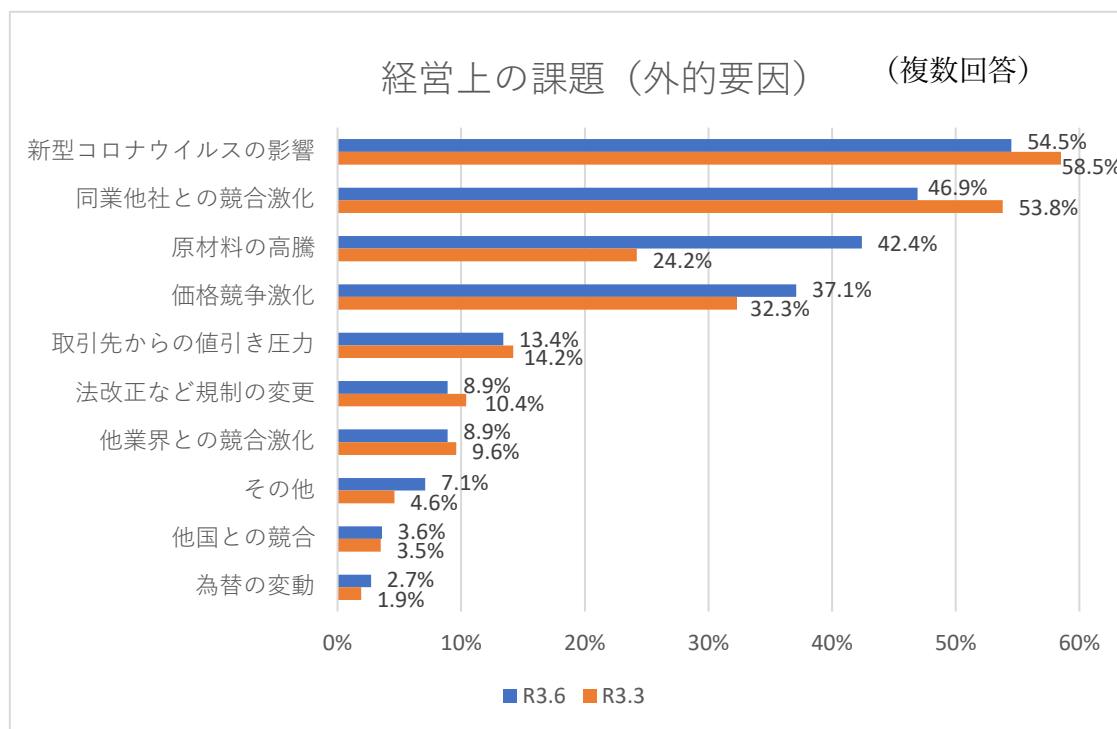
⑪ —経営課題（外的要因）—

## 【原材料の高騰を課題として挙げる声が増加、今後の影響に対する注視が必要】

外的要因における経営上の課題は、依然として「新型コロナウイルスの影響」が54.5%（前回58.5%）と最も多く課題として挙げられたが、R2.6月期調査の74.0%をピークに4期連続で減少となった。続いて多かった「同業他社との競合激化」も46.9%（前回53.8%）と2期連続の減少となった。一方で、「原材料の高騰」は42.4%（前回24.2%）と前回調査時から18.2ポイント急増しており、経営に影響を受ける事業所が多くなってきたと考えられる。

業種別にみると、サービス業以外の業種において「原材料の高騰」を挙げる回答が急激に増加しており、特に建設業は前回から32.1ポイントの大幅な増加となった。

今回の調査において、「原材料の高騰」はこれまで大きな課題とされてきた「新型コロナウイルスの影響」や「同業他社との競合激化」に次ぐ大きな経営課題として急浮上し、経営への影響が懸念されることから、今後注視していく必要があると考えられる。



業種別経営課題 （外的要因） 【複数回答】		新型コロナウイルスの影響	同業他社との競合激化	原材料の高騰	価格競争激化
		全業種	R3.6 54.5%	46.9%	42.4%
	R3.3	58.5%	53.8%	24.2%	32.3%
製造業	R3.6	59.2%	40.8%	44.9%	32.7%
	R3.3	63.5%	50.0%	26.9%	25.0%
建設業	R3.6	38.3%	63.8%	61.7%	51.1%
	R3.3	38.9%	72.2%	29.6%	44.4%
小売業	R3.6	53.1%	34.4%	43.8%	31.3%
	R3.3	57.9%	47.4%	18.4%	31.6%
卸売業	R3.6	65.7%	45.7%	48.6%	40.0%
	R3.3	69.2%	53.8%	28.2%	43.6%
サービス業	R3.6	57.4%	45.9%	21.3%	31.1%
	R3.3	63.6%	46.8%	19.5%	23.4%